

福南だより

校訓『勤勉 友愛 感謝』

第 6 号
令和6年10月2日発行
堺市立福泉南中学校
校長 中島 寛

「立ち止まって考えてみよう」

～物語「鏡の国のアリス」を通して見る時代の世相～

暑い夏も終わりを告げ、秋に入って風が心地よく、かなり過ごしやすい時期となりました。突然ですが皆さんは「不思議の国のアリス」とその続編にあたる「鏡の国のアリス」をご存じですか。イギリスの数学者チャールズ・ドドソンがルイス・キャロルの名で書いた物語です。「不思議の国」でウサギを追いかけて穴に落ちたあと、様々な冒険をしたアリスが鏡を通り抜けてチェスの国に迷い込みます。その中でアリスはチェスのコマとして女王の座を目指すのですが、チェスの女王に近づこうとすると足下の床が逆方向に流れ出すのです。そしてチェスの女王はアリスに「ここで同じ場所にいたいなら、いつも精いっぱい走り続けなければならない、どこかへ行きたいなら2倍速く走らねばならない。」といいます。

一見すると子ども向けのファンタジーに見えますが、ここには19世紀後半のイギリス社会がうつしだされていると言われています。自由競争を行う企業は、鏡の向こうの「チェスの国」のようなもので、少しでも立ち止まればあっと今に取り残されてしまいます。生き残るためには、絶え間なく投資して生産を拡大し、必死に走り続けなければなりません。いわゆる経済競争ですが、これは同時に様々な社会問題を引き起こし、今日の世界情勢に大きな影を落としています。

そして現在我々が置かれているのは「予測不能な社会」であり、かつ「持続可能な開発目標」を打ち立てながら進んでいかなければならない難しい状況です。我々も「不思議の国のアリス」「鏡の国のアリス」の主人公のアリスのように、旺盛な好奇心で様々なことを積極的に体験し、冷静な観察力で判断できるようになれば、深刻化するかもしれない社会問題もへの対応に困難をきたすかもしれません。そして、場合によっては必死に走ることも必要ですが、人類にとって最良の選択とはいかなるものかを見極めるため、時には立ち止まって熟考・観察することも不可欠です。

本校では普通の授業での学び合いに加えて総合的な学習や道徳を通じて、生徒自身が冷静に立ち止まってあらゆる方向に考えを巡らせられるよう、既成概念にとらわれず教育活動を展開してまいりたいと思います。引き続きご支援・ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

10月の主な行事

- 3日(木)、4日(金) 中間テスト
- 8日(火) 専門委員会(後期)
- 9日(水) 3年進路説明会(14時～, 体育館)
- 14日(月祝) 市民オリンピック(金岡陸上競技場)
- 15日(火) 総合的な学習部会 研究授業(1年, 6限)
- 16日(水) 身体測定
- 17日(木) 堺市支援合同スポーツ大会
- 18日(金) 体操服登校終了
- 21日(月) 文化活動発表会リハーサル
- 24日(木) 文化活動発表会準備(6限)(校庭開放中止)
- 25日(金) 文化活動発表会
- 28日(月) 全校集会, 専門委員会

☆体操服登校期間の延長について

夏の暑さ対策等の一環として、体操服登校期間を9/27までとしておりましたが、残暑が厳しいため、10/18まで延長することとなりました。生徒会長から生徒全員の総意として要望を受け、教員で検討した結果、授業において少しでも生徒の暑さ対策となることから、延長することとなりました。

なお、10/21からは通常の制服登校となりますので、それまでに制服のご準備も忘れないよう、今のうちに確認しておいて下さい。

☆多明鏡止水☆

暑さも和らぎ、「天高く、馬肥ゆる秋」となっており、「食欲の秋」、「スポーツの秋」、「読書の秋」など、様々な「〇〇の秋」があるかと思えます。自分自身に当てはめてみると、やはり「食欲の秋」を堪能したいところなのですが、健康面を重視して「スポーツの秋」を充実させようと目下検討中です。長寿には「健康寿命の延伸」が重要だということで、「食は腹8分目、運動は2割増し(限界からさらに動きまわす!）」を目標に、身体をいたわっていきこうと思っています。あとは継続あるのみ、日々自分との闘いになると覚悟を決められるかです。自分にとっては厳しい目標なので、「我慢の秋」になるかもしれませんが、そこは楽しみも持って、結果が出て「笑顔の秋」とならんことを願いつつ、取り組んでいきたいと思えます。